



Cavallo

vol24

清祀

vol32

中四国大会総合優勝



蒜山ホースパークランド、夏季中四国地区学生馬術大会にて、表彰式後

- ・5月、日韓馬術大会に1名と1頭が出場しました。
- ・9、10月、野外走行のトレーニングのため、三木ホースランドパークに遠征に行きました。
- ・全日本学生馬術大会に3名と3頭、全日本選手権大会に2名が出場します。

広島大学体育会馬術部OB会(清祀会)

広島大学体育会馬術部

目次

<CAVALLO>

目次 p1

全日学・選手権に向けて p2～3

新入生紹介 p4

日韓馬術大会報告 p5

三木トレーニング p6

厩舎の日常 p7

第28回夏季中国四国地区学生馬術大会
結果報告 p8～9

馬匹紹介 p10～11

部員 p12

<清祀>

目次 p13

ご挨拶 p14

絵馬奉納にご賛同いただいた皆様へ p15

指導者一同より p16～23

清祀会コラム p23

会員の皆様より p24～26

清祀会からのお知らせ
p26～27

編集者挨拶

みなさまいかがお過ごしでしょうか？ 現役部員は忙しく、楽しく、そして充実した日々を送っています。今回の部誌では、そんな毎日を少しでもお知らせできれば、と思いながら編集させていただきました。至らない点は多々あると思いますが、最後のページまで読んでいただければ幸いです。そして、ぜひご意見・ご感想などお寄せください。お待ちしております。

(2年 佐々木やまと)

ご意見、ご感想はこちらまで↓
メール sei1957kiyo@gmail.com

全日学・選手権に向けて

今年度は、全日本学生馬術大会に3名と3頭、全日本選手権大会に2名が出場します。選手たちが意気込みを語ります！

3年 大上あすみ

〈学典馬場・学典複合 清麗〉

先日の夏大会において、清麗号と学生賞典馬場馬術競技、学生賞典総合馬術競技の二種目の全日本学生馬術大会に出場する権利を得ることが出来ました。清麗号と一緒に念願の全日学へ出場することが決まり、本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。しかし、私の騎乗技術はまだ未熟で、人生初の全国大会ということで不安も多く抱えています。残り少ない時間を使って自分に出来ることを行い、少しでも清麗号と一緒に仕事出来るような騎乗に近付きたいです。大会では、日頃指導者の皆さんに教えて頂いていることや先日の三木での兼子さんの指導を振り返り、来年に繋がるような演技・走行をしたいと思います。全力で頑張りますので、応援よろしくお願いします！



3年 松永起亮

〈学典障害・学典複合 清虎〉

全日学への出場が決まり、入部したときからの目標のひとつが叶いとても嬉しいです。清虎とは2年生の春からコンビを組んで、もう一年半が経ちました。競技では乗っておけばゴールを切らせてくれるスーパーホースです。これまでずっと馬に助けてもらっていました。清虎は競技になると極端に緊張して興奮するので、その精神面の弱さを僕がカバーしてあげられるようにしたいです。中四国学生は総

合馬術において、柳川さんが完走して以来七年間誰も完走を成し遂げていません。完走して、これまで支えてくれた方や応援してくれた方を喜ばせたいです！

3年 北山大貴

<学典馬場 清悠>

<選手権>

1年生の秋、先輩の馬つきとして馬事公苑で全日の舞台をこの目で見て来ました。

「自分もいつか選手としてここに帰ってきたい」

その思いで練習に励んできました。

あれから2年。場所はその時と違い三木ですが、ついに全日の舞台に立つ日がきました。今回は清悠号で馬場に出場します。夏大会は不本意な結果に終わってしまいましたが、全日では何も恐れずに思いきって挑みたいです。また、12月の選手権大会にも出場することになりました。相手は強豪揃いですが、中四国の代表として上を目指したいと思います。

3年 川西真奈美

<選手権>

今年の選手権には、北山、川西が広島大学から出場できることになりました。

私の場合、選手権のくじ運がよく、清悠に当たったため、出場できることになりました。実力のともなった全日本出場というわけではありませんが、出させていただくからには自分達にできる精一杯を出し切りたいと思っています。本番は12月です。それまで日々の練習に励んでいきたいです。どうかたちであれ、馬事公苑に行くことができるので、楽しみでもあります。応援よろしくお願いします。

<競技日程>

・全日学 三木ホースランドパークにて

10月		11月				
30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)
入厩	トレーニング(障害) 開会式	障害	障害	馬場	馬場決勝 総合調教審査	総合耐久審査 総合余力審査

清虎号&松永

清悠号&北山
清麗号&大上

清虎号&松永
清麗号&大上

懇親会、ぜひ来てください!

・選手権 馬事公苑にて

平成26年12月20日(土)、21日(日)

新入生紹介

さて、今年は2人の新入部員が入ってくれました。入部してそろそろ半年、だいぶ馬術部に染まって(笑)きました！

教育学部 二井岡友美

はじめまして。教育学部一年の二井岡です。広島県出身で、入学前も広島大学によくきていました。私は小さい頃から動物が好きで、入学式や新歓ホースショーで馬のかわいさにひかれて入部しました。勉強と部活で忙しくて大変ですが、本当に入ってよかったと思っています。これから精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。

理学部 阿部日向子

こんにちは。1年生の阿部日向子です。大学に入学し、5月初旬に3回レッスンを受け、入部に至りました。大学生では、人生の中でもっとも時間に恵まれている時期です。何をするのも、だれと過ごすのかも自由な時間が膨大にあります。私は、この時間で馬術に挑戦することにしました。馬を観察することと、新しいことに挑戦することで、新たな自分を発見することができるのが楽しく、充実しているように思います。また、やさしく丁寧に指導していただき、嬉しいです。

日韓戦報告

今年5月、3年の松永と清虎号が、福岡で行われた日韓馬術大会のジュニアの部に出場しました。ちなみに、皆さんおなじみ(?)の月刊『馬術情報』にも記事が載せられました！出場した、松永選手からの報告です。

今回の競技会は貸与馬形式でした。清虎号に騎乗したのはサ・ジェミン選手で非常に技術のある選手でした。彼は英語が堪能で、とても気さくな性格だったので、ジュニア選手の通訳をしてくれました。清虎号は競技馬場で緊張する馬で、他の人馬に比べて成績を残せませんでした。サ選手と今後の清虎号のトレーニングや、騎乗方法について会話ができたことはとても有益でした。また、騎乗技術面のみならず精神面でも大きな収穫がありました。競技会中のジュニアの選手の様子とシニアの選手のそれを比べると、シニア選手の方が冷静さや集中力があることが見てとれました。この大会は私にとって大きな経験となりました。

また、たくさんのOB・OGさんが応援に駆けつけてくださいました。岩渕さんがOB会を開いてくださいました。みなさんの学生時代のお話など話題は尽きませんでした。OB会とはいえ、みなさんお互いに初対面の方が多かったのですが、そうとは見えない様子でとても楽しい会でした。そして、そのなかで土井さんが大きな声でエールを送ってくださいました。試合前でとても緊張していましたが、そんな緊張も吹き飛ばすようなエールでした。

とてもたくさんの方に支えられての日韓馬術大会出場でした。本当にありがとうございました！

3年 松永昶亮

↓OB会にて



三木トレーニング

清虎号・清麗号が全日学の総合馬術競技に出場することになり、中四国大会後、この2頭と3年生の4人が三木ホースランドパークにトレーニングに行きました。どのような内容だったのか、実際にトレーニングに行った2人からの報告です。

三木 H.L.P 馬事部の兼子部長にご指導頂きました。清虎に実際に乗って頂いて、馬の改善点を丁寧に説明して頂きました。また僕の騎座の甘さからくる不安定さの改善を基礎から見つめ直し、馬がどうしたら気持ち良く走ることができるかを教えて頂きました。問題点だけでなく、馬の強みを教えて頂いたのもとても良かったです。広大の馬は騎手を信頼して素直に飛んでくれると言って頂きました。笠置総監督が根気強く、丁寧にそういった馬づくりをされているので、外部の方にその点を褒めて貰えたのはとても嬉しく思います。今回のトレーニングには多くの方に時間を使って頂き、金銭面でも部に支援をしてもらいました。ありがとうございました。全日学で結果を出せるように、これからも努力していきます！

松永 昶堯

8月末から9月始めにかけての計八日間、三木ホースランドパークで野外走行のトレーニングを行いました。快く受け入れ、指導して下さった兼子さんを始め、周りの皆さんの協力のお陰で今回のトレーニングは実現しました。本当にありがとうございました。トレーニングの内容は、フラットワークなど基礎的な所からグリーンアリーナや森の中での障害飛越などで、兼子さんの丁寧な指導を通して充実した練習を行うことが出来ました。野外での障害飛越は最初は不安で緊張していましたが、上手くいくととても気持ち良く、自然の中で騎乗することの楽しさも教えて頂きました。騎乗のみならず、座学や練習を通して馬に関する知識も多々教えて頂き、貴重な経験となりました。今回のトレーニングでの経験は、今度の全日学だけで終わらせるのではなく、自分の騎乗や後輩の指導に活かし、今後に繋げていきたいと思えます。

大上 あすみ

厩舎の日常

地域と馬術部 ——ある自由研究を中心に——

厩舎には時々、イベント外の時間にもお客さんが訪れます。これまでも様々な方々がやってきました。私が会ったことのあるのは、タラの芽を取りに来たついでにやって来た老夫婦、馬に癒しを求めに来た銀行マン、朝の練習を近くの建物から見て興味を持った留学生カップル、馬術部の取材に来た雑誌編集者、等々、思い出せば意外と多くのいろいろな方に出会っています。どの方も、馬を見ると、きまって驚いて、そして笑顔になっています。

さて、夏休みの期間には、ある小学生の女の子がやってきました。彼女はそれまでもイベントで厩舎に来たことのある子で、とても馬のことが好きな子でした。話を聞くと、何でも、夏休みの自由研究で広島大学馬術部の馬について研究したい、とのこと。その日から、彼女の自由研究が始まりました。

彼女は、時々朝や夕方にやって来ては、馬術部の馬1頭1頭の様子を熱心に見つめています。りんごやにんじんをあげてみて、どの馬がどの食べ物を好むか、という検証をしていたのが印象に残っています。また、装蹄の日に来たときには、装蹄師さんの快い対応で、装蹄用の前掛けをさせてもらって、装蹄道具を手に持ち記念撮影をしていました。馬の蹄についても、装蹄師さんに熱心に質問していました。部員には、1頭1頭の性格はどういう風なのか質問していて、その答えを丁寧にメモしていました。

こうして月日がたち、自由研究は無事に終わったようで、8月末の納涼うままつりのときに、研究のまとめられた物を持ってきてくれました。これが完成度の高い、素晴らしいものでした。馬1頭1頭の、名前、生年月日、性別、性格について馬全体の写真付きで丁寧に解説していて、また、蹄の説明ページには、馬の蹄の削った本物が貼り付けられていました。もしかしたら、現役部員よりも広大の馬についての知識が豊富かもしれません。後日の報告で、この自由研究は何らかの賞を頂いたそうです。馬術部員として、とても嬉しい限りです。

この研究結果は厩舎でご覧になることができます。厩舎を訪れた暁には、ぜひ、ご覧になってみてください！新しく入った清雪についても丁寧に解説されています。

これからも、春夏秋冬、様々な方が厩舎を訪れることでしょう。一つひとつの出会いを大切にしながら、広大馬術部や馬を地域に広めていきたいと思います。

3年 田原千聖

トレーラーハウスについて

広大馬術部の厩舎の隣には、トレーラーハウスがあるのをご存知ですか？ある方からの寄贈品なのですが、今では立派な部室になっています。冷蔵庫、電子レンジ、こたつなど日用品も完備！夕方に作業のある部員はそれまでこのトレーラーハウスで休んでいたります。ただ、部員の利用が多い分散らかるのもあつという間です。主将にばかり片付けさせていないで、みんなで綺麗に使わなければいけませんよね。

2年 藤井啓右

夏季中国四国地区学生馬術大会 結果報告

今年も総合優勝することのできた広島大学ですが、どのような内容だったのでしょうか？ 7頭と13人の部員が指導者の方々と共に、練習し精一杯努力してきました。ここでは、各競技上位3名と広大部員のみので成績を報告いたします。また、広大馬術部HP()からは試合の映像も見ることができます。ぜひご覧になってください。

なお、()内の数字は試合に出場した数です。

<1日目(8月23日)>

第1競技 学生賞典馬場馬術競技(5)

- 1 古本拓也 カイテキZ 岡山 56.944%
- 2 大上あすみ 清麗 広島 54.166%
- 3 北山大貴 清悠 広島 48.379%

第2競技 学生章典複合馬術競技(6)

- 1 北山大貴 清姜 広島 59.77%
- 2 大上あすみ 清麗 広島 58.62%
- 3 松永赳堯 清虎 広島 58.39%

第3競技 馬場馬術競技L1課目(11)

- 1 小西理絵 ジーオーギャラン 岡山
61.322%
- 2 山崎樹里 クラリスマロン 山口 56.953%
- 3 河村佳奈 旭晃 岡山理科 56.379%
- 6 黒澤明莉 清熊 広島 53.275%
- E 松永赳堯 清虎 広島

第4競技 馬場馬術競技A4課目(10)

- 1 小西理絵 カイテキZ 岡山 58.550%
- 2 藤井啓右 清熊 広島 58.260%
- 3 夏見里果 旭悠 岡山理科 56.087%
- 7 田原千聖 清隼 広島 52.318%

第5競技 馬場馬術競技A3課目(20)

- 1 米谷まり 清麗 広島 57.463%
- 2 川西真奈美 清悠 広島大学 56.014%
- 3 飛田義弘 トライアド 島根 54.710%
- 4 佐々木やまと 清熊 広島 54.565%

6 宮川慧 清隼 広島 53.840%

第6競技 馬場馬術競技A2課目(13)

- 1 小林拓広 昇雲 愛媛 56.765%
- 2 大塚咲季 昇雲 愛媛 55.000%
- 3 岡本直之 ハーベスト 島根 53.235%

<2日目(8月24日)>

第7競技 学生章典障害飛越競技(3)

- 1 大久保香里 クー 岡山理科 タイム
70.00 減点1
- 2 松永赳堯 清虎 広島 56.67 12

第8競技 小障害飛越競技A(10)

- 1 野口彩花 オラフ 鳥取 59.02 0
- 2 北山大貴 清虎 広島 62.17 0
- 3 吉川利弥 燦鳳 山口 75.71 7

第9競技 小障害飛越競技B(15)

- 1 山崎樹里 クラリスマロン 山口 58.67 0
- 2 川西真奈美 清麗 広島 73.13 3
- 3 古本拓也 生喰 岡山 78.35 4
- E 黒澤明莉 清姜 広島

学生章典複合馬術競技【障害】(6)

- 1 松永赳堯 清虎 76.33 0
- 2 大上あすみ 清麗 80.96 4
- E 住田大亮 清将
- E 北山大貴 清姜

<3日目(8月25日)>

第10競技 小障害飛越競技C(15)

- 1 前田紗希 オラフ 鳥取 56.12 0
- 2 高田舞佳 旭悠 岡山理科 57.36 0
- 3 川西真奈美 清隼 広島 57.85 0
- 5 佐々木やまと 清麗 広島 60.51 0
- 7 宮川慧 清隼 広島 77.21 8

第11競技 小障害飛越競技D(17)

- 1 米谷まり 清麗 広島 54.89 0
- 2 飛田義弘 ハーベスト 島根 55.79 0
- 3 福岡廣晃 鶴千 広島工業 61.89 0
- 7 田原千聖 清隼 広島 58.21 4

第12競技 小障害飛越競技E(8)

- 1 大塚咲季 昇雲 愛媛 59.59 1
- 2 岡本直之 ハーベスト 島根 43.98 8
- 3 天野志保 ドッグソウレインボ 島根
79.28 10

第13競技 クロス競技(10)

- 1 城戸友博 鶴千 広島工業 45.91 0
- 2 中村早希 フクノツール 島根 51.22 0
- 3 荒井麻貴 史雲 愛媛 59.77 0

第14競技 スラローム競技(29)

- 1 石川陽子 伯憐 松山
- 2 古泉明里 鶴鳴 広島工業
- 3 古石綾加 カレラ 岡山理科
- 7 阿部日向子 清熊 広島
- 24 二井岡友美 清熊 広島

<団体成績>

- 1 広島大学 89(内団体ポイント20)
- 2 岡山大学 27
- 3 岡山理科大学 23

<個人成績>

- 1 松永赳堯 18ポイント
- 2 大上あすみ 16
- 3 小西理絵(岡山) 14
- 6 北山大貴 11
- 8 藤井啓右 9
- 10 川西真奈美 8
- 12 米谷まり 6
- 24 黒澤明莉 1

<馬匹成績>

- 1 清麗 27ポイント
- 2 清虎 23
- 3 カイテキ Z(岡山) 17
- 7 清悠 8
- 11 清熊 6
- 15 清将 4
- 22 清隼 1

<選手権出場者>

- 古本拓也 岡山
北山大貴 広島
山崎樹里 山口
川西真奈美 広島
重岡美咲 山口

<学生章典複合馬術出場者結果>

- 1 松永赳堯 清虎 総減点 62.4
- 2 大上あすみ 清麗 総減点 66.1

馬匹紹介

現在、広大馬術部には新馬を加え9頭の馬が所属しています。普段関わりの多い部員に、各馬匹を紹介してもらいました。個性豊かでゆかいな仲間たちに、ぜひ厩舎に会いに来てください！



今年の4月、広大馬術部へ新たに仲間入りした清雪です！
まだ6歳ですが、馬体は白くて綺麗な芦毛の女の子です。食べることが大好きでエサさえあれば何でもできます！（笑）ただし、エサがなければ何もできないかも…今のところエサをあげてからの馬出ししか怖くてできません。水でも障碍でもとにかく突っ込んでいくので、将来はスーパーホースになれるかもしれません！？

2年 米谷まり

広大馬術部一のなかよしコンビといえば清隼と勝利です！二頭はいつも一緒です。餌をめぐるケンカをすることもあります、本当はお互いのことが大好きで、一緒にいないと泣いてしまいます。

清隼は「リド」の愛称で親しまれ、部のなかでは主に下級生の障害競技で活躍しています。気難しい性格で、扱いにくい場面もありますが、下級生にとってはいろいろなことを練習させてくれる貴重な存在です。

相方の勝利は愛媛県の野間馬ハイランドからやって来た20歳の野間馬です。いつもは充実した老後の生活を送っていますが、イベントや新歓の際は広報隊長として抜群の機動力を活かして、部のために活躍しています！また、疲れた部員を癒すことにも一役買っています。

これからもこのなかよしコンビをよろしくお願いします！

2年 宮川慧



やさしいのんびり屋さんのおじいちゃん。勝利に次いで2番目にお年寄り、今いる馬の中で1番長く広大馬術部と関わってきています。フレーメンが得意で、ホースフェスなどでは持ち前のかわいさからアイドルのごとく人気者です。

ぼーっとして、何も考えてないんじゃないかと言われることもあります。実際はわかりません。でも、やるときはやる子です！足は遅くて障害飛越も苦手だけど、馬場馬術で全日本に何度も行っています。

今年も行くので、応援よろしくお願いします。

3年 川西真奈美

僕が現在担当している清将はとても賢い馬です。例えば、障害飛越のときは騎手の指示がなくても清将自身が考え、歩幅を変えて踏み切りを調整してくれます。こちらの指示に素直に従ってくれる乗りやすい馬です。しかし同時に、清将の考えと乗り手の指示が食い違くと、反抗という形で意思表示するという悪い面も持ち合わせています。そんな清将ですが、普段は良い子で部員間でも可愛いと評判です。是非一度、その姿を見に来て下さい。

3年 住田大亮



昨年の7月に広大にやってきたキナイ。当初は馬場で他の馬とすれ違うだけでびっくりするなど、「この馬、大丈夫か？」という印象でした。

冬の間到低い障害から地道なトレーニングを重ねて3月の春大会にて広大に来てから初めて大会に出場しました。(小Aで減点8でした) その後は県大会や蒜山で中Dを完走し、人馬共に自信をつけてきましたが、夏中四は自分の焦りから失権してしまいました。担当の三笠コーチには本当に申し訳ない気持ちで一杯です。

来年はキナイと全国の舞台で活躍できるようにまた1年間頑張っていきます。

3年 北山大貴

清熊は昨年、平成25年に京都産業大学から広島大学馬術部に入厩しました。鹿毛のセンで、愛称はステラです。

ボストンと同様、海外生まれの子でフランスから来ています。フランス、というと個人的に優雅なイメージがあるのですが、ステラは優雅な見た目とは程遠く、とにかくゴツい印象。その印象の通り、力も強く、反動も大きいため、ますますゴツく感じます。その反面、馬房の前にいるとエサをおねだりしてくるかわいい面も持ち合わせています。

最近では馬場を中心に練習をしていて、来年の全日出場を目指して特訓中です！

頑張りますので応援よろしくお願いします！

3年 黒澤明莉



威張りん坊 No.1 です。特にボストンが気に入らないようで、練習中でも近くにボストンがいると喧嘩を売りにいきます。普段は威張っていても、寂しがり屋でもあります。放牧をしてあげると、砂を浴びて満足したら、人のいる洗い場の近くに寄ってきます。去年まではダントツの食いしん坊 No.1 でもあったのですが、春に来た雪も相当な食いしん坊で負けてはいません。会計の黒澤さんを悩ませる2頭です。でも、その代わりとても元気に働いてくれます。今年の全日学でも活躍してくれることでしょう！

3年 松永昶堯

清麗号、愛称・チャコは今年で15歳になる真面目な女の子です。近頃はおばあちゃん扱いされることもありますが、今年も夏大会で最優秀馬匹になったスーパーホースです！ご機嫌斜めな時には歯を剥き出して威嚇してきて、まるで宇宙人(宇宙馬?)ようになります。でも、にんじんや黒砂糖を持っているととっても可愛い表情でおねだりして来るギャップがたまりません。11月の全日学では学典馬場と学典総合に出場しますので、応援よろしくお願いします！

3年 大上あすみ



部員

現在、部員14名で活動しております。日々の活動では、指導者・OBの方々、地域の方々、たくさんの人たちのご支援・ご協力があってこそこの馬術部だと実感しています。どんな言葉を持ってしても感謝は伝えきれませんが、この場をお借りしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。これからも部員全員が精一杯、頑張っていきますので、応援のほどよろしくおねがいします。

4年

野地詩織

3年

北山大貴 主将

大上あすみ 副主将・飼料

住田大亮 副主将・車両

黒澤明莉 会計

川西真奈美 装蹄

田原千聖 HP・広報

松永赳堯 幹事

2年

藤井啓右 薬品

宮川慧 体育会

米谷まり 馬具

佐々木やまと オガ・ボロ

1年

阿部日向子

二井岡友美

清祀

目次 p13

ご挨拶 p14

・・・馬術部監督 木内啓司

絵馬奉納にご賛同いただいた皆様へ p15

指導者一同より p16～23

『巣立ち』そして『成長』・・・清祀会会長、馬術部総監督 笠置洋二

清祀会副会長就任に当って・・・副会長 田邊豊晴

思い出・・・部長 小櫃 剛人

ごあいさつ・・・終身顧問 景政崇彦

雑感・・・顧問 新谷信雄

「懐かしい地名」・・・コーチ 田部眞一郎

「笑顔」・・・コーチ 三笠史登

はじめまして・・・顧問 松葉 弘将

ビーインラック号に贈る・・・准コーチ 岡田佳那子

『一期一会』・・・准コーチ 帖佐幸樹

清祀会コラム p23

馬事問風・・・終身顧問 景政崇彦

会員の皆様より p24～26

近況報告・・・S61年卒部 岸尚志

「馬は友達」・・・特別会員 石谷（旧姓川口）博子

清祀会からのお知らせ p26～27

ご挨拶

馬術部監督 木内啓司

清祀会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

おかげさまで、今夏も馬術部は夏季中国四国学生馬術大会において総合優勝、全日本学生馬術大会への3頭の権利獲得という成果を収めることができました。部員・指導者が一丸となって研鑽を積んだ結果であり、寸暇を惜しんでトレーニングに励んだ部員を労ってやりたい気持ちです。

しかしながら、部の運営面が順風満帆かと言えばそれは別問題で、十分なトレーニングを積ませるため、戦力強化のため…と増やした馬匹の維持管理費は、例年以上に部の会計へ負担をかけており、大きく赤字体質へと落ち込んでいます。部員も、やれバイトだ体験乗馬だと資金稼ぎに躍起になってはいますが、負担の増加が部員の疲弊につながり、部活動の継続にも悪影響を生じさせるのではないかと心配の種は尽きません。

そんな状況ではありますが、全日学では人馬とも経験の浅い野外コースにトライしていかねばならず、安全配慮の観点からも適切なトレーニングが必要であり、今般も、三木ホースランドパーク馬事部長、兼子氏の協力を得ながら清麗・清虎の強化に励むなど、『国立大学 NO.1』という大きな目標に向けて一歩ずつ前進しているところです。

会員の皆様には、これまでも多大なるご支援をいただいております。感謝の一言に尽きるところではありますが、馬術部が将来に向けてしっかり前進するためには、まだまだクリアしていかねばならない課題が山積しております。今後とも、ご支援、ご協力をいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

三木ホースランドパークにて(H26.9.7)



絵馬奉納にご賛同いただいた皆様へ

清祀会終身顧問 景政崇彦
清祀会会長 笠置洋二
清祀会事務局 木内啓司

皆様に、大変残念なご報告をしなくてはなりません。

皆様からの暖かいご協力をいただき、昨年8月10日にかつて馬術部が活動していた安佐南区八木の細野神社境内に奉納した絵馬でしたが、残念なことに、さる8月20日未明に同地区をおそった土砂災害において、土石流の被害を受けて流失していたことが9月7日明らかになりました。

災害から当面の間、通行止めとなり近付くこともできず、地域においても最近になってようやく被害が明らかになったとのことで、本殿は残ったものの絵馬を掲げた拝殿は絵馬とともに跡形もなく流されています。正面の石段や石段下にあった大きな石碑も流され本日現在まだ見つからないとのことです。神社の神主さんや地域の皆様も意気消沈されておられるようです。考えただけでも心が傷みます。

まだ具体的には考えられませんが、地域の皆様にお世話になった馬術部が絵馬を奉納した記録は何らかの形で現地に残すことを考えてみたいと思っています。

とりあえずご報告まで。

被災され、亡くなられた方々のご冥福と、早期の復興を切に祈りながら。

2014. 9. 13



残った本殿。この左側に拝殿があったのですが、流され跡形もありません。



正面階段下、道路脇の鳥居は土砂に埋もれ、この横にあった石碑も流失しています。

<指導者一同より>

『巣立ち』そして『成長』

清社会会長

馬術部総監督 笠置洋二

会員の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと思います。

今年の学生の主競技も全日学を残すのみとなりました。春季・夏季中四国学生競技会もお蔭様で総合優勝することができました。特に夏は3年生主体のチームながら、総合優勝・最優秀選手・最優秀馬賞を独占することができました。これも会員の皆様のご理解と強力なご支援の賜物です。ありがとうございました。全日学でどれだけ通用するか？がんばりますので、引き続きご支援をお願いします。

すずめ「巣立ち」

5月20日、練習から帰ると妻が興奮した声で「ちっちつ」という鳴き声がするという。

壁に耳を付けてみると、なるほど間違いなく聞こえる。すずめの子が誕生したらしい。

一昨年、エアコンは不要なので全て取り外した。壁を貫通したパイプの跡の穴は内側に栓をしたので、鳥にとっては恰好の巣穴になった。昨年はそのうちの一つに巣作りをはじめたが、ほぼ完成したところでなぜか投げ出してしまった。たぶん、何度ものぞいて見たのが親鳥の逆鱗に触れたのだろう。

今年も巣作りを始めた。のぞいて見たいところをぐつとがまん。そして念願の誕生となったわけだ。さあそれからが大変。夜はテレビの音を小さくし、小声で話す。昼は親がちゃんと餌を運んでいるか、飽きもせず見守る。ベランダの花にも水が必要。水やりをしていると親鳥が近くまで飛んできて、ホバリングしながらバチバチッと大きな羽音を鳴らしチッチッチと鋭く大きな鳴き声で、早くそこを退けという。わざとじっと立っていると、横の物陰をそつととおりに餌を運んでいる。けなげなものだ。

しかし、そのような楽しい日々も5月27日突然の終わりをつけた。鳴き声が聞こえなくなった。巣から落ちたのかもしれないとベランダの隅々まで見たがいらないし、親鳥も近くに見えないところから、無事巣立ったものと結論。本当にうきうきした楽しい1週間だった。

清雪「成長」

4月27日 景政牧場から清雪が入厩した。すばらしい馬格のサラブレッドだ。ただ、自由気まま。自分の行きたいところには人間を引きずってでも行くし、行きたくないところにはガンとしていかない。怪獣か？これがどう成長するかさせるか？

厩舎での躰、馬場での躰期間を経て、5月19日に初騎乗。調教日誌には ①思ったより冷静 ②頭低く、ハミに重ってくる ③外部のものに敏感に反応 ④動き柔らかく、大きい ⑤反動小さく、柔らかい 楽 ⑥ひどい舌出し と書いてある。

7月27日に初めて駈歩運動をした。

今では、舌はまず出すことはなくなった。あれだけ嫌がっていた馬運車にもすんなり抵抗なく乗るようになった。これからどのように成長していくのか・・・ 楽しみ。

櫻など「成長」

厩舎横の土手に 枝垂れ桜各種4本、河津桜1本、もみじ1本 を植えた。どれも1m程度の小さなもの。成長し大木になった景政櫻（染井吉野）も含め長期間花が楽しめるようになるはずだが、何年後

か。その前にこの冬が越せるか。毎日楽しみにその成長を見ている。

学生「成長と巣立ち」

なにより成長を楽しみにしているのは、当然のことながら学生たちである。入部当時はおどおどして、下を向いて、小さな声でしゃべっていたのが、卒業時には堂々といっぱしの意見をいうようになる。「守・破・離」という言葉があるが、卒業が形だけの「離」ではなく、深い意味の「離」であれば本望というもの。それこそ「みごとな成長であり、すばらしい巣立ち」といえるであろう。結果はすぐには見ることはできないが、それを楽しみにしていることは事実である。

2014. 9. 3.

清祀会副会長就任に当って

副会長 田邊豊晴

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今夏は西日本において天候不順が続き、特に広島市北部では集中豪雨による甚大な土砂災害が発生してしまいました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。被害に遭われた方はごさいませんでしたでしょうか？ 被害が集中した広島市安佐南区八木は、広島大学馬術部が昭和42年に東雲から移り、平成6年に西条キャンパス内に移転するまで活動の拠点としていた場所であり、私の馬術部生活も八木細野神社境内の厩舎と太田川河川敷の馬場でありましたので心痛むものがあります。早い復興をお祈りいたします。

皆様へのご挨拶が遅くなりましたが、本年度より清祀会副会長を拝命いたしました。よろしくお願ひ申し上げます。私は今まで、あまり馬術部に顔を出しておらず、また、OB会誌「清祀」や部誌「CAVALLO」にほとんど投稿もしていなかったことから私をご存じない方が多いと思いますので、この紙面をお借りして少し自己紹介をさせていただきます。

私は、昭和55年度（昭和56年3月）卒で田部眞一郎コーチと同学年です。同期（卒業時）は西条農業高校の馬術部立ち上げにご尽力された黒木正信先生、馬術部内で伴侶を得た近松（旧姓中村）弥生さんの3人です。当時は西日本地区（広島・山口、四国、九州）での学生競技会でしたが、戦績は振るわず残念ながら在籍した4年間は全日本学生大会へは出場できず（せず）、いわゆる低迷期であった時代でした。そうした中でも、田部名誉監督、笠置総監督（当時コーチ）の粘り強いご指導と、影政初代OB会長の物心両面のあたたかいご支援をいただきながら活動を継続することができました。また、3期先輩で社会人となっておられた中井裕正先輩が、忙しい仕事の傍ら新馬（清月）を調教されて宮崎国体の成年障碍飛越で活躍されるなど明るい兆しも見えてきておりました。卒業後、私は地元の金融機関へ勤務しましたが、転勤や多忙を口実に馬術部への関わりが希薄となっておりました。本年4月より、銀行を卒業し岡山県井原市の実家（私一人住いですが）に居住しながら、備後府中の会社に勤務しております。家族は広島市内に居住しており月に数回は広島の自宅へ帰るのですが馬術部へはなかなか訪問できずにおります。申し訳ございません。

とりとめのない自己紹介をしてしまいましたが、3月の「追い出しコンパ」の時に笠置会長より清祀会の副会長を打診されました。地元におりながら今まで何も協力してこなかった後ろめたさもあり、清祀会活動にどのようにお役に立てばよいのかを深く考えずに副会長をお引き受けした次第です。4月以

降、新入生歓迎会に参加させていただいたのと、日曜日の練習に1度訪問しただけの誠に頼りないOBであります。今後、少しずつ訪問機会を増やし馬術部の状況把握や笠置OB会長、新谷顧問をはじめ皆様のご指導を賜りながら、清祀会が馬術部の支援組織としての役割とOBの親睦組織として役割を果たしていけるように協力してまいりたいと思っております。

最後になりましたが、現役学生のみなさん、今年も中四国総合優勝おめでとうございます。
総監督、監督、コーチ陣の皆様、ありがとうございました。

思い出

部長 小櫃 剛人

この夏、学生の頃の自分に立ち返る出来事がありました。馬術部の活動とはあまり関係のない私ごとになりますが、心に残ることがありましたので、紹介させていただきます。大学を卒業して30年近くになります。学生時代、私は軟式庭球部に所属していたのですが、30年の節目ということで、軟式庭球部の前後3年ぐらいの間での同窓会がありました。ほとんどが、卒業してから初めて再会する方々ばかりでした。数年前、やはり中学校の卒業30年での同窓会があり、その時は友人の容姿の変貌ぶりに仰天したので、今回も仲間の変貌を期待して会に臨みました。しかし、意外にも、再会した面々は当時とほとんど印象が変わらず、そのまま少しだけ年をとったという感じ(多少体格がふっくらした程度)で、30年たっても風貌が変わらないという印象を抱いたことに我ながら驚きました。すでに大学生のころに、30年後の風貌や雰囲気形成されていたということなのでしょう。当時、面倒見のよかった先輩はやはりそのまま、リーダーシップのあった方は、やはりそのままでした。30年前の大学生のころから現在にタイムスリップしたような印象でした(ふつうは昔にもどったような気持ちになるのでしょうか)。会場は、学生時代よく使っていた居酒屋で、店主はさすがにおじいさんになっていましたが、ご健在でした。宴もすすみ、各自が近況を報告しはじめました。ある女性の先輩の語った言葉が、印象的でした。

「この会に参加するかどうか迷っていた。生活のほとんどすべてが部活のことばかりだったあの当時のことは、ずっと心の奥にしまっておきたかった。家族にもあまり触れられたくなく、そっと大事にしておきたかった。会に参加すると、パンドラの箱をあけてしまうような、そんな気持ちだった……。でも参加してよかった……」。うまく表現できないのですが、そう語った言葉に共感を覚えました。当時の様々なことは、本人とそのまわりの当事者でしかわかりえないのでしょうか。

現在、生活のほとんどを馬術部で過ごしている諸君、30年後、どのような再会ができるのでしょうか。ここでの生活は長い人生の中での忘れ得ぬひと時となり、それを語り合える日が来ることを期待します。

ごあいさつ

終身顧問 景政崇彦

第 28 回中四国学生馬術大会にて今年も立派な成績を挙げられましたことに、衷心よりお慶び申し上げます。今年の蒜山は雨又雨で大変な大会であったこと、笠置会長より聞き及び人馬共に大変御苦勞であったとお察しいたします。

古来、中国では物事に不怕慢就怕站（急ぐことはない、だが留まるな）と謂れています。一層の研鑽努力を重ねられることを祈念いたします。

さて、先年奉納した絵馬が、去る 8 月 20 日の大豪雨で流されました。総代長山本實様が申されますに、当日朝 6 時頃、神社の上山が出水し、神殿と祭殿を残し、拝殿以下全部流れて県道を越し太田川畔まで大石小石、社の廃材が散乱して、勿論県道不通の有様にて大災害が起こりました。

次に、広大馬術部春秋の詩を作り部誌に載せていただきましたが、此度、元広大学長原田康夫先生が作曲をしてくださいました。これを同じく広大教育OB新宅雅和先生の伴奏で部歌ができましたので、今度、曲をご披露いたします。

最後に今春、長年の馬術部活動との関係を「感謝状」として部長先生より戴き誠にありがとうございました。元より畜産学徒として人生の一部を捧げたまでのことにて皆様に感謝いたして恐縮至極に存じます。

絵馬奉納式にて (H25. 8. 10)



雑感

顧問 新谷信雄

OB諸兄にはお変わり無い事と思います。私も延髄腫瘍の手術から3年経過しました、術後の後遺症と思われる水頭症、硬膜下血腫等でこの間当初と合わせ5回開頭しましたが、なんとか日常の生活には困らずやっていたまで回復しております。今夏の中四国学生馬術大会も何とか審判として参加させてもらい、総合優勝も味あわせてもらいました。とは言え広大馬術部に与えられた課題は大きくのしかかって来ております。部員数の減少、技術の伸び悩み、毎年続く会計の困窮、部員数と繋養頭数のバランス、等々永年の問題の解決はなかなか思うにまかせません。引き続きの卒業生諸兄の支援をお願い致します。本年は6月の全日学の理事会、総会に上京し関東地区の清社会の皆さんとお会い出来ましたが、秋の三木での全日学の時関西地区の皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

まだまだかつてのように乗れないので専ら厩舎周りの環境整備等で少しでも恩返しができればと馬小屋参りは続けております。せいぜい現役生の邪魔にならないよう続けていくつもりです。

「懐かしい地名」

コーチ 田部眞一郎

お盆前に発生した広島市安佐南区の土石流災害では、多くの方が亡くなられ、今なお避難所生活を送って居られる方も有り心が痛む思いです。清社会会員であるOB・OGの皆様方、特に大田川橋河川敷時代を経験された方々は、久しぶりに聞く地名に懐かしさを感じつつも、私と同様に被害の大きさに心を痛められた事と存じます。

私が馬に乗って運動らしき事を行ったのは高校1年生だったと思うのですが、高校2年生の時は週末の練習に参加させていただき、部員の皆さんと一緒に部班で練習をさせていただいておりました。その頃の私は緑井にあった大学生専門の西岡下宿屋さんにお世話になっていましたが、馬場へ向かう途中の梅林、そして馬場と厩舎があった八木という地名は、私の馬術のルーツである京都産業大馬術部とともに、もう一つのルーツであると言えます。緑井、梅林、八木という懐かしい地名の地区が早く災害の痛手から復旧し、従来通りのにぎわいを取り戻される事を願っています。

「笑顔」

コーチ 三笠史登

今年の夏は全国的に異常なほどの降雨があり、ご存じのように広島市にも大きな被害をもたらしました。夏季大会が行われた蒜山高原でも、例年にはないほどの大雨に見舞われました。その雨の中、馬と部員たちはよく頑張ってくれたと思います。

さて、今年の夏季大会に向けて私は、2頭の障害馬を担当させていただきました。清姜と清将です。この2頭にはそれぞれ3年生男子が乗り、学生賞典競技の複合競技へエントリーしましたが、あえなく障害飛越競技で失権し敗退となりました。もともと馬場馬を担当することが多かった私ですが、昨年の

夏以降、田中コーチ、岩本コーチの跡を継ぐ形で障害馬を2頭担当することになりました。引き継いだ当初の私は…まず走行速度に目がついていかない、踏み切りはもちろん読めない、随伴のタイミングも合わないなど、お手上げの状態でした。それでも笠置総監督指導のもと練習を重ね、少しずつ障害飛越競技の楽しさを感じられるまでになりました。

今年、騎乗した2人には良い結果を与えることができませんでした。幸いにもまだ3年生。最終学年となる来年、もう1度チャンスがあります。失権してがっかりと引き揚げてくる2人に対し、すべての障害をクリアした選手たちはとびきりの笑顔で帰ってきました。私たちが馬術部に携わり続けるモチベーションはこの笑顔にある。青臭いようですが、あらためてそう思いました。

来年の夏に向けて自分自身さらなるレベルアップを図り、万全の状態でのぞみ、最後には輝くような笑顔を見られるよう頑張っていきたいと思います。

はじめまして

顧問 松葉 弘将

清社会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度より顧問という立場で、広島大学馬術部に携わらせて頂いております、松葉と申します。タイトルの通り、はじめましてという方がほとんどになると思いますので、この場を借りて自己紹介をさせていただきます。

出身は、広島県の因島市（現在は合併により尾道市因島となっております）で、平成16年に宮崎大学に入学し、宮崎大学の馬術部に所属しておりました。平成16年入学ですが、1回巻乗りを経験しておりますので、卒業は平成20年になります。卒業後は広島市内の企業に就職しました。安佐南区在住という事もあり、西条の厩舎や県大会会場の広島工業大学の馬場もそれほど遠くないという経緯から、休日には何度か遊びに来させて頂いておりました。今年1月に指導者陣の中に加えて頂き、何か肩書きがあった方が学生も言うことを聞き易いという事で、顧問という役職を頂いたのですが、大学生より馬術を始め、広島に帰ってきてからも本格的に乗るという事はなかったものですから、馬歴よりもブランクの方が長いというような状況です。

多くの皆様のご尽力により、広島大学馬術部は毎年のように中四国の学生大会で総合優勝を飾り、全日本学生大会にも団体での出場を狙えるという状況です。皆様が築き上げてきた伝統を汚さぬよう、そして、広島大学馬術部が今後益々の発展を遂げていけるよう、頑張ってお参りますので、今後共、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

ビーインラック号に贈る

准コーチ 岡田佳那子

皆様、お元気でしょうか。私は平成23年に広島大学馬術部を卒部させていただきました。現在は広島大学大学院で博士課程後期2年生です。修士課程の時に時間の関係上、馬術部から少し遠ざかっていましたが、縁あって今年の2月より再びお手伝いをさせていただくことになりました。よろし

くお願いします。

私の馬術部生活で良きパートナーとして長い時をともに過ごしたのがビーインラック号でした。ビーインラック号（以下ラック）は私が学部2年生の平成20年に広島大学にやってきました。きれいな栗毛と大きな顔が印象的な人懐っこい性格の馬でした。笠置総監督の指導と調教のもと練習させていただき多くの思い出が今も心に残っています。厩舎で呼ぶとゆっくりとこっちをみて顔を寄せてくるしぐさ、初めての東京馬事公苑で人馬ともに緊張してしまい演技の途中で何度も鳴き声をあげた事、ビックリすると馬場内を大暴走してみんなを困らせた事、どれも私にとって大切な宝物の思い出です。私とラックは幸運なことに皆様方のご支援のおかげで2度も全日本学生馬場馬術大会に出場させていただくことができました。初めての大きな舞台での悔しさも上手くできた時の喜びも一緒に体感してくれた大切な掛け替えのないパートナーでした。

このビーインラック号ですが今年の7月に愛媛にて疝痛で亡くなりました。あの大きく愛らしい顔がもう見れないと思うととても悲しく、ともに過ごしたパートナーを失った孤独感がありました。しかし厩舎を出た多くの馬がその最後がわからない中、人々のつながりでこうしてラックの最後を聞いたことに感謝すると同時に馬術に関わる人々の温かみに触れたように感じました。多くの経験と楽しく、有意義な学生生活を与えてくれたビーインラック号の冥福を祈りますと共に私のように後輩たちが素晴らしい経験ができるように今後も皆様のご助力をお願いします。



ビーインラック号

『一期一会』

准コーチ 帖佐幸樹

OB・OGの皆さま、いつも手厚いご支援をいただき誠にありがとうございます。平成24年度卒部生の帖佐幸樹と申します。広島大学大学院・教育学研究科で大学院生として研究する傍ら乗馬クラブのアルバイトスタッフを務めています。笠置総監督に昨年の12月から声をかけていただき、広島大学馬術部の活動としては主に指導者の補佐及び部員指導に携わっております。担当馬は現役の頃から馴染みのある清隼号(リド)と笠置総監督の補佐として、影政さんから寄贈していただきました清雪号(ユキ)の調教に関わっております。

さて、現役の頃から携わっている事業として今年も厩舎及びその周辺の修繕要望を進めております。昨年度は厩舎に換気扇と各馬房に蛍光灯が設置され、馬の生活環境が少なからず改善されました。修繕要望が本格的に推進したこの4年間を振り返ってみますと、厩舎の周辺はアスファルトで舗装され体験乗馬会などのイベントが誘致しやすくなりました。

また、街路灯が主要な部分に設置されるなどにより、安全面に関しても以前と比較すれば向上したように思われます。厩舎に関しては先に記載しました換気扇や蛍光灯など改善された部分も多く見られますが、厩舎が築15年を経過し、老朽化が目立つ部分が現れているのもまた事実でございます。今年度は主要なものとして馬具庫の設置を依頼する予定で事業を推進しております。といいますのも現在の馬具庫は使用しなくなったカラオケボックスを馬具庫として転用しておりますのでその馬具庫も老朽化が

著しいことが挙げられます。近年はとくに雨漏りがひどく馬具にカビが発生するなどのリスクが増える環境となっており、本来馬具を保管するにふさわしい馬具庫の設置を要望して参ります。

以上報告いたしましたように、卒部してもなおこのように広島大学馬術の活動に携わることができておりますのは一重に多くの方々からの支えがあつての事です。本当に感謝申し上げます。自分は、機会は勝ち獲っていくものという理念のもと行動しておりますが、このような機会に恵まれることの背景には関係する全ての人々の支えがあつてということをお忘れにはならないと思っております。また支援して下さる方々に何らかの形でお返しをしていきたいと考えております。騎乗面に関して言えばまだまだ未熟な部分も多く、総監督から叱責を受けることも多いですが、幸い、乗馬クラブで馬に乗る機会にも恵まれ、そこで養ったものをなんとか担当馬や部員に還元していくように努力を重ねていきます。OB・OGの皆さま、厩舎周辺の環境はよりよくなってきておりまして、是非一度足を運んでいただければと思います。部員・指導者も様々な世代のOB・OGの方々が来て下さることで、より活気をもって活動することが出来ます。馬も人も一期一会の出会いを大切に、心からお待ち申し上げます。

<清社会コラム>

馬事問風

終身顧問 景政崇彦

◎不怕慢就怕站

あいさつ文の中の『不怕慢就怕站』の（ ）内は古来の意識です。本来は、「ゆっくりなどおそれず、途中で留まるをおそれるになれ」くらいの意だと思います。各自和訳をしてみてください。

◎南舟北馬

馬は難儀な運搬動物でした。

元より中国の言葉ですが、一つ地方史をとって見ても、太田川の支流に三篠川（明治になって名付けた）があり、古来、荒川であった江戸初期、浅野藩が川舟の通運を計りました。この以前は、年貢米を三次方面よりも広島に移すことで難儀しており、時に1俵3斗（45kg）を人の背に1斗、馬の背に2斗と長い列をなして納めまして、可部の浜に集めて広島へ下ります。上記の三篠川川舟の開通にて一舟10～15俵を積み人馬の5回分を運びました。可部の浜からはもっと大きな川舟で広島の蔵へ運びます（向原町史）。

◎余談

○1607年、慶長12年まで広島へ流下する太田川は、現在より西方を流れ、今回、災害のあった八木のところを流れていました。大豪雨があり、太田川を東に向け、旧太田川（佐東川ともいった）は古川と名付けました。400年前の大事の話を加え、豪雨災害は心で起こることを念頭に地形を読み取ることを知しましょう（2014年8月20日細野神社拝殿崩落）。

○北海道大馬術部員「道産子馬」にて日本縦断（2014年8月20日、日農）

山川晃平君「どさん子」に乗って与那国島を目指す！

全国に8種ある在来馬産地を訪ねる旅で、在来馬保護呼び掛ける。

さて、お馬さんご苦労さん。一日何キロ進むのかは解らないが、動物愛護か個人の自己満足か。立派に達成されることを期待します。

<会員の皆様より>

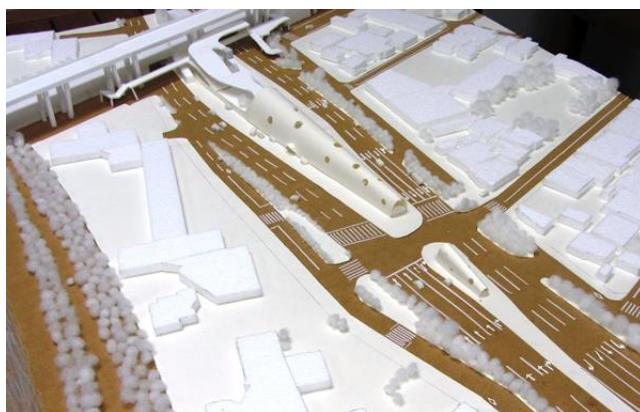
近況報告

S61年卒部 岸尚志

このたびの広島市において発生した豪雨土砂災害により、被災された皆様にお見舞い申し上げます。われわれ八木（可部？）世代の人間にとっては“八木”は忘れえぬ特別な場所。犠牲になられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、一日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

さて私の近況ですが 2010 年に広島市によるアストラムライン白島新駅設計者選定競技に参加。幸運にも設計者に選定され、来年春の開業を目指し現在も度々広島にも訪れる機会を得ることになりました。

白島新駅（仮）が 2015 年春に開業します！



基町アパートの至近で、かつて八木の厩舎にバイクで通った祇園新道に建設されるこの駅は、馬術部のバイトでお世話になった RCC も近くにあります。周辺の街の移り変わりの速さを感じるとともに、東京で追われる毎日の中、仕事でありながら、時折広島を訪れ、30 数年ぶりに優しくも（笑）懐かしい広島弁が交わりながら関わることが、ある意味ホッとする時でもあります。

このようなことで、私自身も広島に行く機会は増えましたが、なかなか西条まで足を延ばすタイミングを掴めず、先日やっとその機会を得たところ、笠置総監督をはじめ、木内監督、在広のOB、現役部員の方々にも歓待して頂き恐縮したところです。

前夜の懇親会では、私の愚息と同年代の諸君に囲まれ、まだまだ現役（サンデーライダーですが…）のつもりでのぞんだものの、現実を突きつけられ、心持ちは微妙…（笑）ただ明るくハツラツとした姿に新たなエネルギーも頂き、今後の馬術部の発展を祈るばかりです。

こんな私の近況ですが、もう暫く広島に通う日々も続きますので、OB、現役の方問わずお声掛けしていただければ幸いです。宜しく願いいたします！



良馬にめぐり合い3年目の調教（←実は調教されてるかも…^^!）に入りました！



「馬は友達」

特別会員 石谷(旧姓川口)博子

「おかあさん、今年の夏休みの作品展用に、蹄鉄を使った作品を作りたい！」

5年生の息子、慧がこう言ったのは夏休みまでまだ二週間、そんなタイミングのある日のことでした。今年の我が家のGWの旅行先は三木ホースランドパーク。2年前に北海道を旅した時、通りかかった小さな牧場で引き馬体験をして以来、二人の子供達は「もっと乗りたいなあ…」を連発していました。下の娘が今年小学生となり、「家族でホーストレッキング！」というひとつの夢を実現させたくて、泊りがけでゆつたりと訪れたのでした。それ以来、慧の頭の中にはさらに「馬は友達」という気持ちが芽生えたようでした。「ヒダルゴ…」と現地で乗った馬の名前を寝言で言っていたこともあったくらいです。

「わかった！本当にそうしたいなら、おかあさんがお世話になった大学のクラブにお願いしてみよあげる。」「うん、気持ちは変わらない！」

夏休みに入って勢い込んで木内さんに連絡を取りました。通っていた頃の八木の厩舎をイメージし、もし使わなくなった蹄鉄があるようでしたら、分けていただけませんか…と。すぐに木内さんから快諾いただき、「よかったら参考に…」と、ありがたいことに学生さん作の作品も同梱してくださいました。

慧の頭の中には当初いろいろな案があったようでした。今年は午年、ソチオリンピックもあった、自分は期間限定のスケート教室に通い（関西大学アイスアリーナが高槻市にあります）その際リンクで練習する高橋大輔選手を目にしたり、また織田信成選手に教わったりしたこともあったことから、そのイメージも取り入れたい、板をスケートシューズの形に切って、そこに蹄鉄を打ち付けて…イメージだけは子どもらしくどンドン膨らみ、でも実現にはほど遠く…そんなことよりもまずはこの錆落とし！



手袋、金ブラシ、紙やすり、ピカール…小学生が普段手にしないものばかり。使い方を教え、家族総出で「この方が取れるかな?」「いや、こっちがいいんじゃない?」…夏休みの作品作りの醍醐味です。家族の協力は不可欠。しかも仕事のある平日はなかなかまとまった時間が取れず、土日やお盆に集中して取り組みました。祖父母も巻き込み、こする、磨く、塗る、スプレーする、のこぎりで切る、サイズのあった釘を探す、打ち付ける、ネジで留める…一通りの作業を経験させることができました。そうするうちに、慧の持つイメージも徐々に整理されたようで、

「ヒダルゴに乗った写真だけでなく、乗った後に『ありがとう!』って言った時の写真も使う!だって

友達やもん！」

馬は友達、というコンセプトに絞り、結局いただいた 2 つの蹄鉄を両方共使った作品となりました。私も久々に手にする蹄鉄、嬉しくて一緒になって磨いて、実は 1 つは自分用の作品を作ろうか、とひそかにもくろんでおりましたが…あえなく慧のものとなりました。

汗水たらして磨いて磨いて、考えに考えた末に出来上がった作品は、シンプルながらも慧のヒダルゴへの想いが溢れた作品となりました。木内さん、広大馬術部の皆さま、今年も御縁をいただき本当にありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。



…この度の広島市における土砂災害被害のこと、心よりお見舞い申し上げます。昨年皆様と一緒に奉納させていただきました絵馬は残念なことになった、とのことですが、私達の想いと当時の汗と涙は土石流にも流されず、きっとあの懐かしの地にしみ込んだままと信じます。土砂災害からの復旧を心よりお祈りいたします。
(大阪府高槻市)

清社会からのお知らせ

◎全日本学生馬術大会懇親会

このことについて、次のとおり部員と清社会員の皆様方との懇親会を開催します。

会員の皆様方におかれましては、全日本学生馬術大会の観戦に併せて懇親会にもぜひご参加ください。

- ・日時：平成 26 年 11 月 2 日（日）19 時～
- ・場所：神戸西神オリエンタルホテル（〒651-2273 神戸市西区糀台 5-6-3 TEL 078-992-8111）
- ・会費：6 千円

三木ホースランドパークからの移動はタクシー（20 分程度）を予定しています。

出欠につきましては、同封の葉書にてお知らせください。

指導者部員一同、会員の皆様とお話できる機会を楽しみに、今後のトレーニングに励んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします！

連絡先…（幹事）木内啓司 携帯：090（8714）7522 pappakapappaka@docomo.ne.jp

清社会アドレス：YHN01736@nifty.com

◎馬術部創部60周年記念イベント

平成29年6月、馬術部は創部から60周年を迎えます。

平成19年に、創部50周年記念式典を開催したのがつい昨日のような気もしますが、部も着実に年齢を重ね、少しずつではありますが成熟の度を深めているところです。

現時点では、未だどのようなイベントとなるかは未定ですが、60周年を記念して、盛大に執り行いたいと思っておりますので、その節は是非ともご参加いただけたらと思います。

これから、記念誌の作成なども準備を進めていきたいと考えています。会員の皆様からの原稿はもちろん、式典や記念誌の内容に関するご提案など、どんどん受け入れて、みんなで作る60周年を目指したいと考えておりますので、どうぞご協力ください！

◎新馬購入千円積立基金について

有志の皆様にご協力いただいております千円積立基金については、先般、お知らせしましたとおり、新谷顧問から木内へ管理者を交代しております。

今後とも変わらぬご支援をいただきますよう、切にお願いします。

平成26年9月現在、積立残高は78万5千円です。

これまでに、清虎号、清将号、清姜号の購入資金として充当させていただき、おかげさまで清虎号はこの度の全日本学生馬術大会にも出場するなど、部の主力となりました。

残る2頭も鋭意調教中。良い報告ができますよう引き続き頑張りますので、今後にご期待ください！